

ミルンちゃんが町の魅力をPR!



くずまきのアイドル・ミルンちゃんが、6月14日にきたぎんボールパークで開催された2026プロ野球ファーム・リーグ公式戦「楽天ゴールデンイーグルス×横浜DeNAベイスターズ」内のイベントに参加し、来場者のお出迎えなどを行いました。試合の5回裏終了後には、県内のご当地キャラクターや応募者によるリレー対決に参加。約3,500人の来場者を盛り上げ、葛巻町の魅力を広く発信しました。

町内特産品の送料無料で贈答品などに町の特産品を活用ください

特産品販売促進事業を活用すると、取扱店から特産品を町外に発送する場合の送料が無料となります。お中元やお盆の贈答品として、ぜひご利用ください。

- ▶期間 7月1日～8月31日発送分まで
- ▶補助対象となる経費 町外の消費者に発送した商品の送料 ※商品購入代金（発送1口当たりの特産品）が3,000円（税込）以上の場合

- ▶特産品要件 以下のいずれかに該当し町が認めたもの
    - ①加工品は、町内産物を加工した製品であること。もしくは、生産者または製造者が町内の者であること。
    - ②生鮮品は産地が町内であること。 ※特産品以外の物の同梱はできません。
- ☎いらっしゃい葛巻推進課 ☎65-8983

くずまき観光地域づくり協議会総会 地域経済活性化へ課題を再認識

くずまき観光地域づくり協議会（会長・觸澤義美副町長）の令和8年度総会は5月26日、協議会員やアドバイザーなど約20人が出席し、まき×まきホールで開催されました。



▲あいさつを述べる觸澤副町長

觸澤副町長は「回復傾向にある観光需要の動向を見据え、今後も地域資源を活用した交流・関係人口創出や経済活性化の取り組みに努めていきたい」とあいさつ。議事では令和7年度の事業報告が行われ、各部会の取り組みについて共有しました。

出席したアドバイザーからは、データ分析に基づいた具体性のある施策の検討、AIやSNSを活用した情報発信の強化といった観点から助言があり、さらなる観光地域づくりの推進に向けた課題を確認しました。



▲関係者が集まり開催された総会

葛巻町の観光を盛り上げる活動に参加してみませんか？

- ★観光・交流促進部会
- ★まちなか賑わい創出部会
- ★関係人口創出部会
- ★若者・高校生部会



気軽にお問い合わせください。

☎いらっしゃい葛巻推進課 ☎65-8983

くずまき よってけ 食堂

プレイベントを開催！食を通じた笑顔の輪が広がる

町地域おこし協力隊の中尾なつみさんが代表を務める、くずまきよってけ食堂のプレイベントが5月31日、くずま～の調理室で行われ、大人から子どもまでの約30人が訪れました。

中尾さんは、子ども食堂を通じて町の活性化に役立てないかと本イベントを企画。町内の団体や企業から物品の寄付など、さまざまな支援を受け、カレーライスなどが子どもは無料、大人は低価格で提供されました。

中尾さんは「町民同士のつながりの強さとともに、人の温かみを感じられた」と笑顔を見せ「活動の中で課題も見えた」と振り返りました。今後は「利用者の要望などを参考にしながら、月1回の開催を目標にしたい」と意気込み、活動に手応えを感じていました。



1 食事をしながら会話を弾ませる家族 2 多様な世代間での交流も盛んに 3 プレイベントの手応えについて笑顔で話す中尾さん

次回は7月に開催予定！  
詳細はインスタグラムなどでお知らせ予定です



くずまき鍋普及促進協議会総会 特産品としての魅力向上へ

くずまき鍋普及促進協議会（会長・鈴木重男町長）の令和8年度総会が6月16日、くずま～で開かれました。

総会前にくずまき食のアンバサダー委嘱状交付式が行われ、料理研究家の小野寺恵さん（盛岡市）が鈴木町長から委嘱状を受け取りました。小野寺さんは、令和6年からアンバサダーとして、町の食の魅力や可能性の発掘など、町産品のイメージアップに取り組み「これまでの活動から物事を継続することの大切さを感じた。今後は葛巻町が魅力溢れる特産品を生み出すトップランナーとなるよう尽力していきたい」と抱負を述べました。

総会の議事では、前年度における事業報告や本年度の事業計画について協議。出席者は積極的に意見を交わし、くずまき鍋のさらなる普及を促進するために、取り組みの方向性などを共有しました。



▲鈴木町長から委嘱状を受け取る小野寺さん



暑い日にぴったり 冷やくずまき鍋

町内飲食店6店舗で提供しています。

- ・プラトー
- ・森のこだま館
- ・グリーンテージ
- ・茶香
- ・リベロ
- ・みもれ